

2月1日(月)

あなたがたは世界の光です

聖書朗読 ヨハネ3：16～21

このように、あなたがたの光を人々の前で輝かせ、人々があなたがたの良い行ないを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようにしなさい。

マタイ5：16

文化がますますキリスト教に対して厳しくなっている中で、キリストについての福音が世界各地で野火のように広がっています。なぜでしょうか？

使徒パウロは「この世の神が不信者の思いをくらませて、神のかたちであるキリストの栄光にかかわる福音の光を輝かせないようにしているのです。」(Ⅱコリント4：4)と説明しています。一方で「『光が、やみの中から輝き出よ。』と言われた神は、私たちの心を照らし、キリストの御顔にある神の栄光を知る知識を輝かせてくださったのです。」(Ⅱコリント4：6) 神様はキリストの内にあるご自身の栄光を、私たちが見ることができるようになさっているのです。

山上の聖訓で「あなたがたは、世界の光です。」(マタイ5：14)と言われた時、イエス様は私たちに偉大なる命令の片鱗を与えてくださいました。「あなたがた」という代名詞は原文では、「あなたがたが、あなたがただけが、世界の光です。」という意味です。

もし私たちが「世界の光」であるなら、私たちはイエス様を反映しているということです。イエス様の光が私たちのうちに見られるとき、私たちは神様が燭台の上に置かれた「家にいる人々全部を照ら」すあかりとなります(マタイ5:15)。そのあかりは暗やみをなくし、世界に希望をもたらします。

厳しい環境にあつてさえ、神様は愛をもって真実を語り、イエス様の麗しさを自分のうちに見せるようにと私たちを招いておられます。

讃美歌 173

祈り 私たちのお父様、私たちは自分たちの光の源泉としてあなたをほめたたえます。私たちが自らの内にイエス様の光を輝かせ、暗やみを追い払うことができるよう助けてください。

世界の光であるイエス様の御名によって祈ります。アーメン。

リチャード・N・アディ
オレゴン州 グレシャム

今日のカ

2021年2月1日～2月7日

翻訳 鈴木 慈久

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

2月2日(火)

あなたの光を輝かせましょう

聖書朗読 ヨハネ1：5、マタイ5：14～16

あなたがたは、世界の光です。

マタイ5：14

私は少年の頃、いわゆる都会と言われる所に住んでおりました。しかし、私たち一家は都会の人のような生活をしていませんでした。私たちはごく普通の田舎者のような生活をしており、家には二つの部屋とそれを挟んだ通路がありました。水道は外にしかありませんでしたので、水を得るためには庭に出なければなりません。水道水を裏庭にある大きな蛇口から取っていたのです。凍るように寒い気候の日は蛇口に布でカバーをしなければなりません。それをしても凍結してしまうこともありました。

一家の主な光源は灯油ランプでした。夜にはそれらが明るく輝きました。しかし、そのランプが消えると、二つのドアと二つの窓しかない家は真っ暗になりました。

キリストの時代には、家はもっと暗かったかもしれません。そしてその頃の人々の光の源にはオイルが入っていて、灯心に一切れの布がつけられた粘土のポットでした。彼らがランプの一つに覆いを掛けたのは、ベッドに入ったときだけでした。

今日の聖書箇所では、イエス様はクリスチャンに暗闇の世界にキリストの光を輝かせるように言いました。決して覆いを掛けたり隠してはいけません。神様の愛の光は道を示すのです。

こどもさんびか 「ひかりひかり」

祈り 親愛なるお父様、私たちが自分が光であることを忘れないでいられるように助けてください。他の人々があなたを見て神をあがめることができるよう、私たちがあなたの尊い御言葉から燃料補給をし続けるのを助けてください。

イエス様の御名により。アーメン。

セラース・S・クライン・ジュニア
テネシー州 ヘンダーソンヴィル

2月3日(水)

彼らをイエスのところに連れて行きなさい

聖書朗読 ヨハネ6：9～15

イエスは言われた。「あなたがたの信仰が薄いからです。まことに、あなたがたに告げます。もし、からし種ほどの信仰があったら、この山に、「ここからあそこに移れ。」と言えば移るのです。どんなことでも、あなたがたにできないことはありません。
マタイ17：20

群衆にどうやって食べさせたら良いかというイエス様の問いかけに、アンデレは質素な昼食を携えた少年をイエス様のもとに連れてきました。アンデレはそのことがどれほどの助けになるかは知らなかったのですが、あらゆる助けがどこから来るのかは知っていました。実際、アンデレに関するごく少ない聖書箇所において、アンデレが、何かの時にはすぐにイエス様のもとに行ったことが垣間見えます。

ヨハネの福音書1章では、アンデレは自分を罪深い男だと言う兄弟のペテロを、「私たちはメシヤに会った。」と言いながらイエス様のもとに連れてきました。ヨハネの福音書12章では、過ぎ越しの祭りに参加していたギリシヤ人たちがピリポにイエスに会えないかと頼んだとき、ピリポはアンデレにそれを伝え、そしてアンデレはピリポとともにイエス様のもとに行きました。聖書による言及は少ないながら、そのパターンははっきりしています。アンデレの答えはいつもイエス様なのです。アンデレは正に私たちが倣うべき模範ですね。友達や親類がいますか？ その人をイエス様のもとに連れて行きましょう。問題がありますか？ それをイエス様のもとに持っていきましょう。疑問がありますか？ イエス様に尋ねましょう。自分の人生をイエス様のもとに持っていくのは、いつでも正しい応答なのです。

信仰とは神様の恵みへの生きた、大胆な確信です。

それはあまりに確実で間違いないことなので、人生を1000回でもそれに賭けることができるのです。

マルティン・ルター

讃美歌 270

祈り 親愛なる主よ、あなたの誠実さに感謝します。私たちの人生にどんな問題があっても、あなたが常に正しい助言の源であることを信頼できるよう、私たちの信仰が十分でありますように。

あなたの御名によって祈ります。アーメン。

ジーナ・ゴードン

サウスカロライナ州 ミュレルズインレット

2月4日（木）

生きたパンのようになる

聖書朗読 ヨハネ6：48～58

私たちは、救われる人々の中でも、滅びる人々の中でも、神の前にかぐわしいキリストのかおりなのです。
Ⅱコリント 2：15

手作りのパンを嫌いな人がいるのでしょうか？目を閉じれば、それが焼ける匂いを感じられるような気がするでしょう。人がパンを焼くとき、その目標は焼いた後に、ほどよく発酵したしるしとして、小さな穴が隅々にまで行きわたった軽いパンを生み出すことです。そしてもちろん、それが良い香りをさせることです！ですからイースト菌が生地の中で仕事をしなければなりません。「天の御国は、パン種のようなものです。女が、パン種を取って、三サトンの粉の中に入れてと、全体がふくらんで来ます。」（マタイ13：33）

神様の目標は、私たちの人生において、私たちが御子の似姿に形作ることです。私たちは聖なるものとならなければなりません。「キリストは聖なるものとされる人々を、一つのささげ物によって、永遠に全うされたのです。」（ヘブル10：14）「至る所で私たちを通して、キリストを知る知識のかおりを放ってください」（Ⅱコリント2：14）と書いてあるように、私たちがイエス様のかおりを放つように「練って」ください。

私たちの生き方、愛し方を通して、人々は、イエス様を求めたいという思いに駆られ、導かれるでしょう。今日「生きたパン」を待っている、飢えた人にそれを分け与えてあげましょう。

というのは、神のパンは、天から下ってきて、
世にいのちを与えるものだからです。

ヨハネ6：33

讚美歌 225

祈り おお、主よ、私たちを整え、そして私たちが、迷っている人々、飢えている人々に、イエス様を示すことができますように。イエス様だけが真の食物を与えてくださり、罪が生み出した空白を満たして下さることができます。あなたの御心にしがたって私たちが形作ってください。

イエス様を通じて祈ります。アーメン。

キャロル・ローデス
コロラド州 プエブロ

2月5日（金）

止まるか、行くか

聖書朗読 ヨハネ6：60～71

主よ。私たちがだれのところに行きましょう。あなたは、永遠のいのちのことばを持っておられます。私たちは、あなたが聖者であることを信じ、また知っています。
ヨハネ6：68～69

ヨハネの福音書6章は奥が深いです。イエス様の五千人の給食に始まり、熱狂した人々がイエス様を強いて地上の王にしようと目論みました。何節か話を先に進めると、同じ人々がイエス様が「厳しい」ことを言うので不平を言います（41～43節、60節）。多くの人が背を向け、イエス様について来なくなりました（66節）。イエス様は今度は使徒たちに、自分たちも去りたいと思うかどうか尋ねました。ペテロのこの時の回答は素晴らしいものでした。「主よ、私たちがだれのところに行きましょう。・・・私たちは、あなたが神の聖者であることを信じ、また知っています。」

あなたはもしかしたら、人間関係におけるこのような3つの段階について聞いたことがあるかもしれません。これらは結婚やキャリアに当てはめられますが、ヨハネ6章でも同様なことを見ることができるでしょう。

蜜月の段階：興奮の時。人々はキリストを預言者だと言い、「王」にしようとしてしました。

失望の段階：物事が自分の望む通りでないと気付いた時、そして、物事が現実味を帯びてあなたに変わることを求める時。イエス様が「厳しいことば」と感じる内容に満ちた説教をします。

決断の段階：多くの人々が去ったが、使徒たちが留まった時。これが最も重要な段階です。そしてたいていの場合、留まるのが最善です。

イエス様のもとに留まるのが、私たちへの召しです。

讚美歌 512

祈り 神様、あなたの私たちへの約束に感謝します。何があっても、私たちがあなたに対して真実であり続けるよう助けてください。私たちが、もっとも賢明な決断をすることができるよう助けてください。イエス様の御名により。アーメン。

デイル・ジェンキンス
テネシー州 スプリングヒル

2月6日(土)

無限に流れ出る霊

聖書朗読 ヨハネ7：34～44

わたしを信じる者は、聖書が言っているとおり、その人の心の奥底から、生ける水の川が流れ出るようになる。
ヨハネ7：38

私が初めて聖霊について聞いたとき、私はこの神様の三つ目の人格がなしてこられたすべてのことに驚嘆しました。しかしそこで鍵となったのは「こられた」という言葉でした。最初のうち、私は今この時に神様がなされている働きをなかなか受け入れることができませんでした。しかし、今日の聖書箇所が明らかにしているとおり、イエス様が栄光にあげられた時、聖霊が与えられるようになりました。ですから、私たちは今や神様の聖霊を頂いているのです！

アウトドア好きのハイカーなので、私は泡立つ泉や勢いよく流れる川が大好きです。それらは爽快で、純粹で、心を生き返らせる、いのちを与えるものです！ イエス様はそれが、聖霊を持つものの奥底から流れ出るものだと思います。

私たちは困難な時代を生きています。私たちは自分の内に沸き上がり流れ出て、自分や周りの人々に新しいいのちを運んでくださる聖霊の愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制を心から必要としています。神様に栄光がありますように！

天の鳩よ、汝の翼を広げ、
自然の夜を徹して卵を抱け。
我らの乱雑な霊の動きの上に、
そしてそこに今すぐ光をもたらせ。
チャールズ・ウェスレー

讃美歌 179

祈り 天のお父様、あなたが今この時私たちのうちにいてくださることを感謝します。あなたが私のうちに大切な御霊の実を育ててくださることを、私は受け入れます。私が今日、明日、そしていつもあなたに明け渡すことができますように。

イエス様の御名によって祈ります。アーメン。

ブルース・M・ヘンダーソン
ネバダ州 カーソンシティ

2月7日(日)

あなたのいるどこにでもイエス様はいます

聖書朗読 ヨハネ8：1～11

人の子は、失われた人を捜して救うために来たのです。 ルカ19：10

姦淫の場で捕えられた女の物語は、イエス様が誰かを神様のもとへ連れ戻そうと手を差し出された物語です。イエス様にとっては、この女性を神様から引き離れた罪がどんなものであったかは問題ではありませんでした。大切なことは、彼女を神様へと引き戻すことだったのです。そこには振り返りも、裁きも、罰もありません。イエス様は「わたしもあなたを罪に定めない。行きなさい。今からは決して罪を犯してはなりません。」(11節)と言われた時、女性に前に進む道を示されたのです。

ヨハネの福音書14章6節でご自身を道であり、真理であり、命であると述べられたとき、イエス様は私たちに「ご自身だけが神様との和解の道であると言われたのです。イエス様はそのことを地上生涯の日々の歩みの中で示してくださいました。誰であるか、何をしてきたかは問題ではありませんでした。イエス様はすべての人が神様のもとに来る道として自分自身を差し出したのです。イエス様の目的は私たちを捜し出し、救うことでした。

私たちが神様との関係性のどこにいても、イエス様は手を差し伸べていて下さり、私たちがその御手を取り、神様への道に引き戻されるようにと望んでそこにおられるのです。

讃美歌 271

祈り 親愛なる主よ、私が人生の旅のどこにいても、あなたがそこにおいて私を正しい道へと導くように備えておられることに感謝します。

イエス様の御名により。アーメン。

マーシャ・ドウェル
テキサス州 ヘロテス